

2008年1月21日

印刷情報用紙をはじめとする紙製品への古紙パルプ配合率の偽装に対する  
製紙会社の対応への要望  
声 明

グリーン購入ネットワーク（GPN）会長 中原秀樹  
国際グリーン購入ネットワーク（IGPN）会長 山本良一

このたび、製紙業界の有力6社（日本製紙、王子製紙、大王製紙、三菱製紙、北越製紙、中越パルプ工業、）等による、紙製品への古紙パルプ配合率の偽装については、GPN/IGPNとして誠に遺憾であります。本件はグリーン購入の取組の根幹をゆるがす背信行為であり、断じて許されることではありません。グリーン購入に広く活用されているGPNの製品データベース「エコ商品ねっと」にも各社の製品が掲載されていますが、同データベースの内容は、各社の自己責任により登録された情報にもとづくものであり、データベースの信頼性に重大な影響を与える行為です。われわれは各社に強く抗議するものです。

現在、主要製紙メーカー各社によって、該当製品の生産停止や供給先からの製品回収がはじめられていますが、今後の製紙会社及び関連会社の対応を以下のように要望します。

**本件への謝罪、原因の究明と公表、再発防止に向けた対応策の策定**

今回の偽装問題に対して強く抗議するとともに、私たちグリーン購入に取り組むユーザー・消費者への謝罪を求めます。また、このような事態に至った原因の究明と公表、さらには再発防止に向けた対応策の早急な策定を要求します。

**在庫品や回収された紙製品が、新たな環境負荷増大に繋がらないような適正対応**

在庫品や回収された紙製品が廃棄されたり、古紙原料にリサイクルされたり、ということになれば、さらに環境負荷が増大することになります。製品として利用できるものについては、表示を改めた上で利用するよう求めます。

**古紙パルプが配合された紙製品の市場への継続供給**

古紙パルプ配合製品をはじめ、該当製品の生産停止が行われていますが、グリーン購入活動を後退させないためにも、正しい表示を行った上で、古紙パルプ配合製品（再生紙）を市場に積極的に供給していくことを求めます。

**失われた信頼回復・環境負荷回復のためのオフセットプログラムの創設**

今回の偽装問題は、国内をはじめ、世界のグリーン購入活動に与えた影響は甚大で、消費者の信頼を大きく傷つけました。今後もグリーン購入を推進させるためには、関係者との対話の充実や情報公開の徹底をはじめ、これまで偽ってきた環境負荷貢献分（古紙パルプ配合率の乖離度）をオフセットする仕組み、グリーン購入を普及・推進させる枠組みなどで、消費者の信頼を回復させ、これまで偽ってきた環境負荷の価値を補うことを提案します。

以上

<連絡先> グリーン購入ネットワーク（GPN）事務局

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-67 コスモス青山B2

TEL：03-3406-5155 FAX：03-3406-5190

E-mail：[gpn@net.email.ne.jp](mailto:gpn@net.email.ne.jp) HP：<http://www.gpn.jp/>